

2023 年度入学試験問題

数 学

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の表紙と裏表紙の注意事項をよく読んでください。その際、問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子のページ数は 24 ページです。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
4. 数学の問題は範囲①、範囲②及び範囲③の三つの出題範囲に分かれています。下表を参考に解答する範囲を一つだけ選択し、解答しなさい。解答に有効な範囲以外を解答した場合、その得点は無効となります。

範囲①：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(1ページから8ページ)

範囲②：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(9ページから16ページ)

範囲③：数学Ⅰ・数学A(17ページから24ページ)

学 部	学 科(コース)	解答有効な範囲
工 学 部	機械工学科(機械工学コース)	範囲①のみ
	機械工学科(航空宇宙学コース)	範囲①のみ
	電気電子情報工学科	範囲①のみ
	応用化学科	範囲②のみ
創 造 工 学 部	自動車システム開発工学科	範囲①のみ
	ロボット・メカトロニクス学科	範囲①のみ
	ホームエレクトロニクス開発学科	範囲①または範囲②
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科(応用バイオコース)	範囲②のみ
	応用バイオ科学科(生命科学コース)	範囲②のみ
情 報 学 部	情報工学科	範囲①または範囲②
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	範囲①または範囲②
	情報メディア学科	範囲①または範囲②
健康医療科学部	看護学科	範囲③のみ
	管理栄養学科	範囲②のみ
	臨床工学科	範囲①または範囲②

(注意事項は裏表紙に続く)

範圍①：数学 I · II · III · A · B

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

1 次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。

- (1) $\triangle ABC$ において $\angle ACB = 90^\circ$, $AC = 8$, $\tan \angle ABC = 0.5$ とする。また、辺 BC 上に $\tan \angle ADC = 0.8$ となるような点 D をとる。このとき、 $BC =$ ア , $BD =$ イ である。また、 $\triangle ADC$ の外接円の半径は ウ であり、 $\triangle ADC$ の内接円の半径は エ である。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

- (2) $0 \leq t < 10$ とする。点Oを原点とする座標平面上に2点P($4 + t, 0$), Q($0, 10 - t$)をとる。このとき、 $\triangle OPQ$ の面積 S を t の式で表すと、 $S =$ となり、 $t = 0$ のとき S の値は である。また、 S の値が最大になるような t の値は $t =$ で、そのとき S の値は であるから、 $0 \leq t < 10$ のとき、 S のとり得る値の範囲を不等式で表すと、 である。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

- (3) 1つの正四面体があるとする。この正四面体の各面を、それぞれの面ごとに赤、緑、青、黄から1つ色を選んで、その色で塗りつぶす。ただし、視点を変えると同じに見える塗り方は、同じ1つの塗り方と数える。このとき、正四面体が4色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りあり、3色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りある。

また、正四面体の4つの面に1, 2, 3, 4の番号をつけて、1つのサイコロを4回投げて出た目に応じて、番号順にいずれかの色で塗りつぶすとする。1の目が出たら赤で、2の目が出たら緑で、3または4の目が出たら青で、5または6の目が出たら黄で塗りつぶすことにするとき、正四面体が青と黄のちょうど2色で塗りつぶされる確率は であり、緑、青、黄のちょうど3色で塗りつぶされる確率は となる。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

2 次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。
なお、同一の問題文中に **セ** などが2度以上現れる場合、2度目以降は、 **セ** のように細字で表記してある。

(1) a を定数とする。座標平面上の点 $P\left(a, \frac{1}{4}a^2 + \frac{1}{4}a + \frac{1}{2}\right)$ を中心とする半径2の円を C とし、直線 $3x + 4y + 3 = 0$ を l とする。

点 P と直線 l の距離を a を用いて表すと **セ** である。よって、円 C と直線 l が共有点をもつときの a の値の範囲は **ソ** である。また、点 P と直線 l の距離 **セ** の最小値は **タ** である。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

- (2) $t = \sin \theta + \cos \theta$ とする。 $\sin \theta \cos \theta$ を t の式で表すと であるから、関数 $y = \sin^3 \theta + \cos^3 \theta$ を t の式で表すと $y =$ である。
- $0 \leq \theta \leq \pi$ のとき、 t のとり得る値の範囲は である。よって、 $0 \leq \theta \leq \pi$ のとき、関数 y の最大値は で、最小値は である。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

- (3) 四面体OABCにおいて、辺ABを2:3に内分する点をD、線分DCを2:1に内分する点をE、線分OEの中点をFとし、直線AFと平面OBCの交点をGとする。

$\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とするとき、 \vec{OD} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表すと、 $\vec{OD} = \boxed{\text{ニ}}$

である。

さらに、 $\vec{OC} = \vec{c}$ とするとき、 \vec{OE} と \vec{AF} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表すと、 $\vec{OE} = \boxed{\text{又}}$, $\vec{AF} = \boxed{\text{ネ}}$ である。

また、 k を定数とすると、 $\vec{AG} = k\vec{AF}$ となるならば、 $k = \boxed{\text{ノ}}$ である。

注意) 範囲①に $\boxed{\text{ハ}}$ はありません。解答用紙の $\boxed{\text{ハ}}$ の欄には何も記入しないでください。

範囲①：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B

3

a を 0 でない定数とし、 $f(x) = x^2 - 2$ 、 $g(x) = ax$ とする。

放物線 $y = f(x)$ と直線 $y = g(x)$ で囲まれる部分を S_0 とする。また、 S_0 を x 軸で 2 つに分けたとき、 x 軸の上側の部分を S_1 とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 放物線 $y = f(x)$ と直線 $y = g(x)$ のすべての共有点の座標を a を用いて表せ。
- (2) $a = -1$ のとき、 S_0 の面積を求めよ。
- (3) $a = 1$ のとき、 S_1 の面積を求めよ。
- (4) $a = 1$ のとき、 S_1 を x 軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積 V を求めよ。

範圍②：数学 I · II · A

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

1 次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。

- (1) $\triangle ABC$ において $\angle ACB = 90^\circ$, $AC = 8$, $\tan \angle ABC = 0.5$ とする。また、辺 BC 上に $\tan \angle ADC = 0.8$ となるような点 D をとる。このとき、 $BC =$ ア , $BD =$ イ である。また、 $\triangle ADC$ の外接円の半径は ウ であり、 $\triangle ADC$ の内接円の半径は エ である。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

- (2) $0 \leq t < 10$ とする。点 O を原点とする座標平面上に 2 点 $P(4+t, 0)$, $Q(0, 10-t)$ をとる。このとき, $\triangle OPQ$ の面積 S を t の式で表すと, $S =$ となり, $t = 0$ のとき S の値は である。また, S の値が最大になるような t の値は $t =$ で, そのとき S の値は であるから, $0 \leq t < 10$ のとき, S のとり得る値の範囲を不等式で表すと, である。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

- (3) 1つの正四面体があるとする。この正四面体の各面を、それぞれの面ごとに赤、緑、青、黄から1つ色を選んで、その色で塗りつぶす。ただし、視点を変えると同じに見える塗り方は、同じ1つの塗り方と数える。このとき、正四面体が4色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りあり、3色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りある。

また、正四面体の4つの面に1, 2, 3, 4の番号をつけて、1つのサイコロを4回投げて出た目に応じて、番号順にいずれかの色で塗りつぶすとする。1の目が出たら赤で、2の目が出たら緑で、3または4の目が出たら青で、5または6の目が出たら黄で塗りつぶすことにするとき、正四面体が青と黄のちょうど2色で塗りつぶされる確率は であり、緑、青、黄のちょうど3色で塗りつぶされる確率は となる。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

2

次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。

なお、同一の問題文中に などが2度以上現れる場合、2度目以降は、 のように細字で表記してある。

- (1) a を定数とする。座標平面上の点 $P\left(a, \frac{1}{4}a^2 + \frac{1}{4}a + \frac{1}{2}\right)$ を中心とする半径2の円を C とし、直線 $3x + 4y + 3 = 0$ を l とする。

点 P と直線 l の距離を a を用いて表すと である。よって、円 C と直線 l が共有点をもつときの a の値の範囲は である。また、点 P と直線 l の距離 の最小値は である。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

- (2) $t = \sin \theta + \cos \theta$ とする。 $\sin \theta \cos \theta$ を t の式で表すと であるから、関数 $y = \sin^3 \theta + \cos^3 \theta$ を t の式で表すと $y =$ である。
- $0 \leq \theta \leq \pi$ のとき、 t のとり得る値の範囲は である。よって、 $0 \leq \theta \leq \pi$ のとき、関数 y の最大値は で、最小値は である。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

(3) $f(x) = x^2 - 4$ とし、放物線 $y = f(x)$ を C とする。

C 上の点 $(1, f(1))$ における接線を l とすると、 l の方程式は $y = \boxed{\text{ニ}}$ である。また、 C の接線で l に直交するものを m とすると、 C と m の接点の座標は $(\boxed{\text{ヌ}}, \boxed{\text{ネ}})$ であり、 m の方程式は $y = \boxed{\text{ノ}}$ である。

また、定積分 $\int_{-2}^3 |f(x)| dx$ の値は $\boxed{\text{ハ}}$ である。

範囲②：数学Ⅰ・Ⅱ・A

3 d を自然数とする。20 分ごとに分裂して、個数が 2 倍に増えるバクテリア A と、 d 分ごとに分裂して、個数が 2 倍に増えるバクテリア B がある。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) バクテリア A が 100 個あるとき、1 時間 40 分後のバクテリア A の個数を求めよ。また、バクテリア A が L 個あるとき、 x 時間後のバクテリア A の個数を L と x を用いて表せ。
- (2) 最初 25 個あったバクテリア B が、45 分後に 200 個になった。このとき、 d の値を求めよ。また、このバクテリア B が最初に M 個あるとき、 x 時間後のバクテリア B の個数を M と x を用いて表せ。
- (3) d の値を(2)で求めた値としたとき、バクテリア A の個数が $4N$ 個あり、バクテリア B の個数が N 個あるとき、バクテリア A の個数とバクテリア B の個数が等しくなるのは何時間後か。
- (4) バクテリア A が 10 個あるとき、何時間後にはじめてバクテリア A の個数が 9×10^8 個以上になるか。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ 、 $\log_{10} 3 = 0.4771$ とし、答えは整数で求めよ。

範圍③：数学 I · A

範囲③：数学Ⅰ・A

1 次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。

- (1) $\triangle ABC$ において $\angle ACB = 90^\circ$, $AC = 8$, $\tan \angle ABC = 0.5$ とする。また、辺 BC 上に $\tan \angle ADC = 0.8$ となるような点 D をとる。このとき、 $BC =$ ア , $BD =$ イ である。また、 $\triangle ADC$ の外接円の半径は ウ であり、 $\triangle ADC$ の内接円の半径は エ である。

範囲③：数学 I ・ A

- (2) $0 \leq t < 10$ とする。点 O を原点とする座標平面上に 2 点 $P(4 + t, 0)$, $Q(0, 10 - t)$ をとる。このとき, $\triangle OPQ$ の面積 S を t の式で表すと, $S =$ となり, $t = 0$ のとき S の値は である。また, S の値が最大になるような t の値は $t =$ で, そのとき S の値は であるから, $0 \leq t < 10$ のとき, S のとり得る値の範囲を不等式で表すと, である。

範囲③：数学Ⅰ・A

- (3) 1つの正四面体があるとする。この正四面体の各面を、それぞれの面ごとに赤、緑、青、黄から1つ色を選んで、その色で塗りつぶす。ただし、視点を変えると同じに見える塗り方は、同じ1つの塗り方と数える。このとき、正四面体が4色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りあり、3色で塗りつぶされる塗り方は全部で 通りある。

また、正四面体の4つの面に1, 2, 3, 4の番号をつけて、1つのサイコロを4回投げて出た目に応じて、番号順にいずれかの色で塗りつぶすとする。1の目が出たら赤で、2の目が出たら緑で、3または4の目が出たら青で、5または6の目が出たら黄で塗りつぶすことにするとき、正四面体が青と黄のちょうど2色で塗りつぶされる確率は であり、緑、青、黄のちょうど3色で塗りつぶされる確率は となる。

範囲③：数学Ⅰ・A

- 2 次の にあてはまる数または式を解答用紙の指定した箇所に書け。
 なお、同一の問題文中に など2度以上現れる場合、2度目以降は、 のように細字で表記してある。

- (1) a, b は負でない整数とし、 $a \leq b$ とする。2つの変数 x, y のデータ

x	1	3	7	9	10
y	7	a	3	b	6

について、 x のデータの平均値は $\bar{x} =$ であり、 x のデータの分散は である。 y のデータの平均値が \bar{x} と等しく、 x のデータの分散が y のデータの分散の2倍であるとき、 $a =$, $b =$ である。

x と y の共分散を s_{xy} 、相関係数を r とする。 $a =$, $b =$ のとき、 $s_{xy} =$ である。また、 r を、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表すと、 $r =$ である。ただし、必要であれば $\sqrt{2} = 1.4142$ として計算せよ。

範囲③：数学 I ・ A

(2) 赤球 3 個と白球 4 個の入った袋を A とし、赤球 2 個と白球 5 個の入った袋を B とする。

A, B の袋から球を 1 個ずつ取り出すとき、2 個の球が同じ色になる確率は である。また、A の袋から球を 2 個、B の袋からも球を 2 個、あわせて 4 個の球を取り出すとき、4 個の球がすべて同じ色になる確率は である。

A の袋から 1 個の球を取り出し、色を調べてからもとに戻すことを 4 回続けて行う。このとき、白球をちょうど 2 回取り出す確率は である。また、4 回目に 3 度目の白球が出る確率は である。

範囲③：数学 I ・ A

(3) $\sqrt{121 - 3n} = k$ とする。

k が整数となるような自然数 n は全部で 個ある。

また、 k が整数となるような自然数 n のうち、最大の値は であり、 $n =$ のとき $k =$ である。さらに、 k が整数となるような自然数 n を大きさの順に並べるとき、小さい方から 3 番目の値は であり、 $n =$ のとき $k =$ である。

範囲③：数学 I ・ A

- (4) $\triangle ABC$ は、辺の長さがそれぞれ $AB = 80$, $BC = 75$, $CA = 45$ であるとする。 $\angle BAC$ の二等分線と辺 BC の交点を P とすると、 $CP = \boxed{\text{へ}}$,
 $BP = \boxed{\text{ホ}}$, $AP = \boxed{\text{マ}}$ である。 $\angle ABC = \theta$ とおき、
 $\sin \theta : \sin 2\theta : \sin 3\theta$ を整数の比で表すと $9 : \boxed{\text{ミ}}$: $\boxed{\text{ム}}$ である。

スーパーサイエンス特別専攻を受験する者の解答有効な範囲は下表の通りです。なお、解答有効な範囲以外を解答した場合、その得点は無効となります。

スーパーサイエンス特別専攻	解答有効な範囲
電気電子特別専攻	範囲①のみ
医生命科学特別専攻	範囲②のみ
ICT スペシャリスト特別専攻	範囲①または範囲②
次世代自動車開発特別専攻	範囲①のみ
ロボットクリエイター特別専攻	範囲①のみ
機械工学特別専攻	範囲①のみ

- 解答用紙は、範囲①と範囲②の共通の解答欄と範囲③の解答欄が表と裏になっています。
- 解答開始後、解答用紙の表面と裏面を確認し、自分が受験する学科が有効とする範囲に対応した解答用紙面の範囲選択欄に○印を記入し、受験番号欄には受験番号、氏名欄には氏名を記入しなさい。
- 1**・**2**の解答は解答用紙の該当箇所に答えのみを記入し、**3**（範囲①及び範囲②のみ）の解答は答えだけでなく、解答の途中経過がわかるように記入しなさい。
- 問題冊子の余白等は自由に利用してかまいません。
- 解答用紙を持ち出してはいけません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

氏名	
----	--

範囲①：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B

~~範囲②：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A~~

注：この面は範囲①・範囲②の共通解答欄です。範囲③の解答欄はこの面の裏にあります。

1	ア 16	イ 6	ウ $\sqrt{41}$	エ $9-\sqrt{41}$
	オ $\frac{1}{2}(4+t)(10-t)$	カ 20	キ 3	ク $\frac{49}{2}$
	ケ $0 < S \leq \frac{49}{2}$	コ 2	サ 12	シ $\frac{14}{81}$
2	セ $\frac{a^2+4a+5}{5}$	ソ $-5 \leq a \leq 1$	タ $\frac{1}{5}$	チ $\frac{t^2-1}{2}$
	テ $-1 \leq t \leq \sqrt{2}$	ト 1	ナ -1	ニ $\frac{3}{5}\vec{a} + \frac{2}{5}\vec{b}$
	ハ $\frac{1}{5}\vec{a} + \frac{2}{15}\vec{b} + \frac{2}{3}\vec{c}$	ヘ $-\frac{9}{10}\vec{a} + \frac{1}{15}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c}$	ホ $\frac{10}{9}$	ヒ

3 解答は答えだけでなく、途中経過がわかるように記入しなさい。

(1) $x^2-2 = ax$ より $x = \frac{a \pm \sqrt{a^2+8}}{2}$ より 共有点は

$$\left(\frac{a+\sqrt{a^2+8}}{2}, \frac{a^2+a\sqrt{a^2+8}}{2} \right), \left(\frac{a-\sqrt{a^2+8}}{2}, \frac{a^2-a\sqrt{a^2+8}}{2} \right)$$

(2) $a = -1$ のとき 共有点は $(1, -1), (-2, 2)$ であるから

$$S_0 \text{ の面積は } \int_{-2}^1 \{(-x) - (x^2-2)\} dx = \int_{-2}^1 (-x^2-x+2) dx = \left[-\frac{1}{3}x^3 - \frac{1}{2}x^2 + 2x \right]_{-2}^1 = \frac{9}{2}$$

(3) $a = 1$ のとき 共有点は $(-1, -1), (2, 2)$ である また $f(x) \geq 0$ となる

のは $x \leq -\sqrt{2}, \sqrt{2} \leq x, g(x) \geq 0$ となるのは $0 \leq x$ なので S_1 の面積は

$$\int_0^{\sqrt{2}} x dx + \int_{\sqrt{2}}^2 \{x - (x^2-2)\} dx = \left[\frac{1}{2}x^2 \right]_0^{\sqrt{2}} + \left[-\frac{1}{3}x^3 + \frac{1}{2}x^2 + 2x \right]_{\sqrt{2}}^2 = 1 + \left(\frac{7}{3} - \frac{4\sqrt{2}}{3} \right) = \frac{10-4\sqrt{2}}{3}$$

(4) 回転体の体積は

$$\pi \int_0^2 x^2 dx - \pi \int_{\sqrt{2}}^2 (x^2-2)^2 dx = \pi \int_0^2 x^2 dx - \pi \int_{\sqrt{2}}^2 (x^4-4x^2+4) dx$$

$$= \pi \left[\frac{1}{3}x^3 \right]_0^2 - \pi \left[\frac{1}{5}x^5 - \frac{4}{3}x^3 + 4x \right]_{\sqrt{2}}^2 = \frac{8}{3}\pi - \left(\frac{56}{15} - \frac{32\sqrt{2}}{15} \right)\pi$$

$$= \frac{-16+32\sqrt{2}}{15} \pi$$

範囲選択欄	①	②
	○	○

受験番号		得点	①	②
------	--	----	---	---

範囲①：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B

範囲②：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A

注：この面は範囲①・範囲②の共通解答欄です。範囲③の解答欄はこの面の裏にあります。

1	ア 16	イ 6	ウ $\sqrt{41}$	エ $9-\sqrt{41}$
	オ $\frac{1}{2}(4+t)(10-t)$	カ 20	キ 3	ク $\frac{49}{2}$
	ケ $0 < S \leq \frac{49}{2}$	コ 2	サ 12	シ $\frac{14}{81}$
2	セ $\frac{a^2+4a+5}{5}$	ソ $-5 \leq a \leq 1$	タ $\frac{1}{5}$	チ $\frac{t^2-1}{2}$
	テ $-1 \leq t \leq \sqrt{2}$	ト 1	ナ -1	ニ $2x-5$
	ス $-\frac{1}{4}$	セ $-\frac{63}{16}$	シ $-\frac{1}{2}x - \frac{65}{16}$	ス 13

3 解答は答えだけでなく、途中経過がわかるように記入しなさい。

(1) 1時間40分 = 100分なので、20分を5回繰返したことになる。
 よって $100 \times 2^5 = 3200$ 個である。また、1時間 = 60分なので
 1時間後には 2^3 倍になるので、 x 時間後は $N \times 2^{3x}$ 個

(2) $200 \div 25 = 8$ であるから45分で $8 = 2^3$ 倍になった。
 つまり45分で2倍を3回繰返したことになるので $d = 45 \div 3 = 15$ 分
 1時間後には 2^4 倍になるので、 x 時間後は $M \times 2^{4x}$ 個

(3) $4N \times 2^{3x} = N \times 2^{4x}$ より $2^{3x+2} = 2^{4x}$ となるので
 $3x+2 = 4x$ とすればよい。よって $x = 2$ 。つまり
 2時間後に個数は等しくなる。

(4) $10 \times 2^{3x} \geq 9 \times 10^8$ であるから両辺の常用対数をとると
 $1 + 3x \log_{10} 2 \geq 8 + 2 \log_{10} 3$ となるので $x \geq \frac{7 + 2 \log_{10} 3}{3 \log_{10} 2}$
 ここに $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771$ を代入すると $x \geq 8.808 \dots$
 x は整数なので9時間後に 9×10^8 個を初めて超える。

範囲 選択 欄	①	②
		○

受験 番号	得点	①	②
----------	-------	----	---	---

氏名	
----	--

範囲③：数学Ⅰ・数学A

注：この面は範囲③の解答欄です。範囲①・範囲②の共通解答欄はこの面の裏にあります。

1	ア	16	イ	6	ウ	$\sqrt{41}$	エ	$9 - \sqrt{41}$		
	オ	$\frac{1}{2}(4+t)(10-t)$		カ	20	キ	3	ク	$\frac{49}{2}$	
2	ケ	$0 < S \leq \frac{49}{2}$		コ	2	サ	12	シ	$\frac{14}{81}$	
	セ	6	ソ	12	タ	4	チ	10	ツ	2
	テ	0.24	ト	$\frac{26}{49}$	ナ	$\frac{1}{7}$	ニ	$\frac{864}{2401}$	ヌ	$\frac{576}{2401}$
	ネ	7	ノ	40	ハ	1	ヒ	24	フ	7
ヘ	27	ホ	48	マ	48	ミ	15	ム	16	

範囲選択欄	③
	<input type="radio"/>

受験番号		得点	③
------	--	----	---